平成二十一年度の財政状況をお知らせします

財政課
☎㉔8803

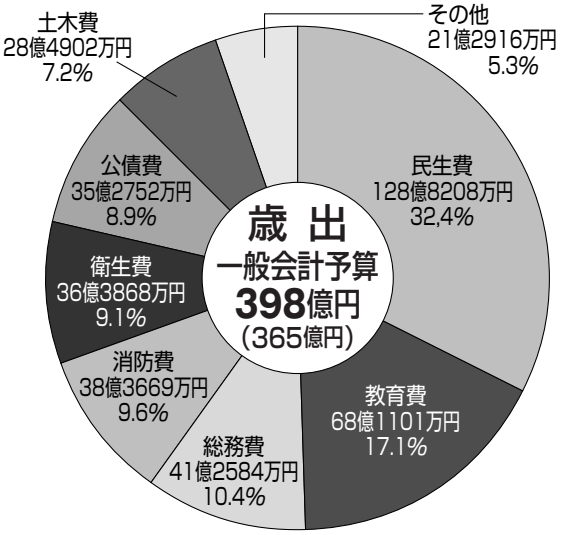
丸亀市の平成二十一年度一般会計の当初予算は三百九十八億円で、前年度と比較して三十三億円の増加となりました。

そこで、市民一人当たりにすると、一体どのくらいの金額が、どのようなことに使われているかを各費目ごとに表してみました。

平成二十年度と比較して増加している主なものは、消防費と教育費です。これは、平成十九年度からスタートした総合計画に基づき、消防庁舎の移転改築や学校施設の耐震化、新学校給食センターの建設などによるものです。

昨年来の急激な景気の後退により、税収が減ることは避けられず、平成二十一年度予算は、限られた財源の中で厳しい行財政運営を強いられることとなります。そのような状況下にはありますが、「安全・安心の基盤づくり」「将来を展望した少子化対策」「さらに一歩進んだ行政改革」の三つの課題に重点を置き、事業の「選択と集中」に努めました。また、集中改革プランの最終年度として、進ちょく度、到達度を再点検し、持続できる財政構造への転換を確実なものとするため、包括予算編成による事業の見直しやゼロ予算事業などの実践を含めた予算編成を行いました。

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。



市民一人当たりの経費

公債費
31,858円
(31,142円)

市債の返済に

衛生費
32,862円
(31,883円)

環境と健康を守るために

消防費
34,650円
(15,945円)

防災や救急活動のために

総務費
37,262円
(45,911円)

行政の運営に

教育費
61,512円
(51,277円)

教育の振興のために

民生費
116,342円
(110,677円)

各種福祉事業のために

予備費
452円
(452円)

諸支出金
903円
(0円)

合計
359,445円
(330,060円)

労働費
2,157円
(1,559円)

働く機会の確保のために

議会費
3,257円
(3,416円)

市議会の運営に

商工費
3,808円
(3,986円)

商工業の振興に

農林水産業費
8,652円
(6,975円)

農林水産業の振興のために

土木費
25,730円
(26,837円)

道路・港湾などの整備に

※平成21年度市民一人当たりの経費は、平成21年4月1日現在の常住人口(110,726人)で計算しています。
下段の数字は、平成20年度一般会計当初予算の市民一人当たりの経費です。